

1 0 月 3 1 日

10月31日(月) 午前10時03分開議

出席議員

1番	浜 先 秀 二	2番	上 松 英 邦
3番	吉 野 伸 康	4番	山 本 秀 男
5番	大 石 秀 昭	6番	片 平 司
8番	野 崎 剛 睦	9番	胡 子 雅 信
10番	林 久 光	11番	住 岡 淳 一
12番	山 根 啓 志	13番	登 地 靖 徳
14番	浜 西 金 満	15番	山 本 一 也
16番	新 家 勇 二	17番	山 木 信 勝
18番	扇 谷 照 義	20番	上 田 正

欠席議員

7番 沖 元 大 洋

本会議に説明のため出席した者の職氏名

市長	田中 達美	副市長	正井 嘉明
教育長	万治 功	総務部長	土手 三生
政策推進特命参事	河下 巖	市民生活部長	川寄 純司
福祉保健部長	徳永 信幸	産業部長	瀬戸本三郎
土木建築部長	石井 和夫	会計管理者	川尻 博文
教育次長	木戸佐夜子	消防長	岡野 数正
企業局長	今宮 正志	総務課長	浜村 晴司
財政課長	久保 和秀	企画振興課長	有馬 博之

本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	玉井 栄藏
議会事務局次長	平井 和則

議事日程

日程第1	諸般の報告
日程第2	会議録署名議員の指名
日程第3	会期の決定
日程第4	常任委員の選任
日程第5	議会運営委員の選任
日程第6	推薦第1号 農業委員会委員の推薦について
日程第7	議案第70号 平成22年度江田島市一般会計歳入歳出決算の認定について
日程第8	議案第71号 平成22年度江田島市国民健康保険特別会計歳入歳出

決算の認定について

- 日程第 9 議案第 7 2 号 平成 2 2 年度江田島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 1 0 議案第 7 3 号 平成 2 2 年度江田島市介護保険（保険事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 1 1 議案第 7 4 号 平成 2 2 年度江田島市介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 1 2 議案第 7 5 号 平成 2 2 年度江田島市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 1 3 議案第 7 6 号 平成 2 2 年度江田島市港湾管理特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 1 4 議案第 7 7 号 平成 2 2 年度江田島市漁港管理特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 1 5 議案第 7 8 号 平成 2 2 年度江田島市地域開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 1 6 議案第 7 9 号 平成 2 2 年度江田島市宿泊施設事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 1 7 議案第 8 0 号 平成 2 2 年度江田島市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 1 8 議案第 8 1 号 平成 2 2 年度江田島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 1 9 議案第 8 2 号 平成 2 2 年度江田島市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 2 0 議案第 8 3 号 平成 2 2 年度江田島市公共下水道事業（能美地区）会計決算の認定について
- 日程第 2 1 議案第 8 4 号 平成 2 2 年度江田島市交通船事業会計決算の認定について
- 日程第 2 2 議案第 8 5 号 平成 2 2 年度江田島市水道事業会計決算の認定について

開会（開議） 午前 10 時 03 分

○議長（上田 正君） おはようございます。

ただいまの出席議員は 18 名であります。

沖元大洋議員から欠席の連絡が入っております。

定足数に達しておりますので、ただいまから、平成 23 年第 5 回江田島市議会臨時会の開会します。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめ御手元に配付したとおりであります。

日程第 1 諸般の報告

○議長（上田 正君） 日程第 1、「諸般の報告」を行います。

田中市長から報告事項がありますので、これを許します。

田中市長。

○市長（田中達美君） 皆さんおはようございます。

毎日ほんとうに御苦労さまでございます。

第 5 回江田島市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆さんには、御出席いただきましてありがとうございます。

また市民の方々には、早朝から臨時会の傍聴にお越しいただきまして、心からお礼申し上げます。

さて、9 月定例会閉会後の市政の主な事柄につきまして、5 項目報告を申し上げます。

まず第 1 点目が、ドリームのうみの無償貸与期間の延長契約及び意見交換会の開催についてでございます。

10 月 5 日、市役所で、東日本大震災の復旧・復興のために、無償貸与している本市所有のフェリー「ドリームのうみ」の貸与期間を平成 24 年 3 月 15 日までの 5 カ月間延長する契約を、大島汽船株式会社と締結いたしました。

契約締結後、大島汽船株式会社の白幡昇一社長から市議会議員及び市民代表者にドリームのうみの運航状況や被災地の復旧・復興状況について御報告をいただき、意見交換を行いました。

2 点目が、ヒロシマMIKANマラソン大会についてでございます。

10 月 16 日、広島県立大柿高等学校を主会場に、第 26 回ヒロシマMIKANマラソン大会を開催いたしました。

大会には、市内をはじめ、北は北海道から南は大分県まで全国各地から 2,345 人の参加がありました。

今回は、ゲストランナーとして元中国電力陸上部梅木蔵雄さん、広島メイプルレッズの高山智恵さんと五月女美代さんを迎え、参加者と一緒にコースを楽しく走っていただきました。

当日は、マラソン大会とあわせて「ふれあい産業まつり」も開催され、市内外から約5,000人が訪れ、大盛況となりました。

なお、この大会では、東日本大震災の被災地復興支援として参加費の一部を寄附いたしました。

御協力をいただきました関係機関、団体のボランティアをはじめ、沿道で熱い声援を送っていただきました市民の皆様にお礼を申し上げます。

3点目が、文化芸術フェスタ事業についてでございます。

10月29日、30日の両日、農村環境改善センターで、第7回江田島市美術展、ミニコンサートなどを開催いたしました。

市美術展は、一般公募の作品89点をはじめ、小・中学生の部の絵画・書の入選作品119点、高校生の部の絵画作品16点を展示いたしました。

また、フルートとギターによるミニコンサート、初代市美術展実行委員長の米原猛さんの遺作作品の特別展示及びスイーツデコ教室を行いました。

多くの市民が、心の豊かさと潤いを感じることができたと思います。

4点目が、各種定期総会等についてでございます。

このことについては、別紙1のとおり開催され、市長、副市長、教育長及び関係部課長が出席いたしました。

最後に、5点目、工事請負契約の締結についてでございますが、別紙2のとおり契約を締結いたしております。

以上で、報告を終わります。

○議長（上田 正君） 以上で、市長の報告を終わります。

これで、「諸般の報告」を終わります。

日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（上田 正君） 日程第2、「会議録署名議員の指名」を行います。

本定例会の会議録署名議員は、会議規則第81条の規定により、議長において、11番 住岡淳一議員、12番 山根啓志議員を指名いたします。

日程第3 会期の決定

○議長（上田 正君） 日程第3、「会期の決定」についてを議題といたします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日限りにしたいと思っております。

これに異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

したがって、本臨時会の会期は、1日限りに決定いたしました。

日程第4 常任委員の選任

○議長（上田 正君） 日程第4、「常任委員の選任」を行います。

お諮りします。

常任委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定によって、議長において、総務常任委員に、新家勇二君、浜西金満君、山根啓志君、大石秀昭君、吉野伸康君、上松英邦君。

文教厚生常任委員に、登地靖徳君、林 久光君、胡子雅信君、野崎剛睦君、片平 司君、浜先秀二君。

産業建設常任委員に、上田 正君、扇谷照義君、山木信勝君、山本一也君、住岡淳一君、沖元大洋君、山本秀男君、をそれぞれ指名したいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

したがって、ただいま指名した方をそれぞれの常任委員に選任することに決定しました。

この際、暫時休憩いたします。

（休憩 10時11分）

（再開 10時31分）

○議長（上田 正君） 休憩を解いて、会議を再開します。

日程に先立ち、各常任委員会の委員長及び副委員長が互選されましたので報告いたします。

総務常任委員会、委員長 吉野伸康君、副委員長 新家勇二君。

文教厚生常任委員会、委員長 野崎剛睦君、副委員長 浜先秀二君。

産業建設常任委員会、委員長 山木信勝君、副委員長 山本秀男君。

以上であります。

日程第5 議会運営委員の選任

○議長（上田 正君） 日程第5、「議会運営委員の選任」を行います。

お諮りします。

議会運営委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定によって、議長において、吉野伸康君、新家勇二君、野崎剛睦君、浜先秀二君、山木信勝君、山本秀男君を指名いたしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

したがって、議会運営委員は、ただいま指名した方をそれぞれ議会運営委員に選任することに決定しました。

この際、暫時休憩いたします。

(休憩 10時34分)

(再開 10時50分)

○議長（上田 正君） 休憩を解いて、会議を再開します。

日程に先立ち、議会運営委員会の委員長及び副委員長が互選されましたので報告いたします。

議会運営委員会、委員長 新家勇二君、副委員長 山本秀男君、以上であります。

また、先ほど、総務常任委員会、文教厚生常任委員会並びに産業建設常任委員会及び議会運営委員会の各委員長から、会議規則第104条の規定によって、お手元に配布しました申し出のとおり、閉会中の継続調査の申し出がありました。

お諮りします。

各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

したがって、各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定いたしました。

日程第6 推薦第1号

○議長（上田 正君） 日程第6、推薦第1号「農業委員会委員の推薦」についてを議題といたします。

お諮りします。

議会推薦の農業委員は4人とし、古田博章君、岡本勇壯君、清水正子君、村上浩司君、以上の方を推薦したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

したがって、議会推薦による農業委員は、古田博章君、岡本勇壯君、清水正子君、村上浩司君、以上の方を推薦することに決定いたしました。

日程第7 議案第70号～日程第22 議案第85号

○議長（上田 正君） 日程第7、議案第70号「平成22年度江田島市一般会計歳入歳出決算の認定について」から、日程第22、議案第85号「平成22年度江田島市水道事業会計決算の認定について」までの16議案を、一括議題といたします。

本16議案に関し、山根啓志決算審査特別委員長の報告を求めます。

山根啓志決算審査特別委員長。

○決算審査特別委員長（山根啓志君） おはようございます。

それでは報告いたします。

決算審査特別委員会報告

本委員会は、平成23年第4回江田島市議会定例会本会議（3日目）において付託された次の議案について、総務・文教厚生・産業建設の3分科会に分割し、慎重に審査した結果、次のとおり決したので、会議規則第103条の規定により報告いたします。

平成23年10月31日

江田島市議会議長 上田正様

江田島市議会決算審査特別委員会委員長 山根啓志

1. 審査した議案

議案第70号「平成22年度江田島市一般会計歳入歳出決算の認定について」から、議案第85号「平成22年度江田島市水道事業会計決算の認定について」までの16議案。

2. 審査年月日

平成23年9月26日、総務分科会、平成23年9月28日・29日 文教厚生分科会、平成23年10月6日・7日 産業建設分科会。

3. 審査の概要

本審査に当たっては、各会計決算書及び附属書類・証書類はすべて監査委員の審査済みであり、その意見書も提出されているので、計数的な面での審査は省略し、平成22年度各会計における予算の執行が議会議決の趣旨を尊重し、適正にして公正かつ能率的に執行されたかどうか、あるいは、行政の目的とする地域住民の福祉の増進のためどのような効果を上げることができたか、行政効果の観点から審査を行った。

4. 審査の結果

平成22年度の一般・特別並びに各企業会計の決算認定にあたっては、前述したような審査の着眼点に基づき、決算書の内容について関係職員の説明を聴取し、検討を行ったところ、一般・特別並びに各企業会計決算は、適法にして、かつ予算議決の趣旨を尊重しながら、健全な財政運営に努められていると認めた。

よって、平成22年度一般・特別並びに企業の各会計決算については、個別意見並びに要望事項を付して、賛成多数で認定することに決した。

個別意見（要望事項）は、以下記載のとおりでございます。

以上で、報告を終わります。

○議長（上田 正君） これをもって、決算審査特別委員長の報告を終わります。

これより、委員長の報告に対する質疑に入ります。

なお、委員長への質疑は、報告にあります委員会の経過と結果に対するものでございます。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

まず、本16議案に対する反対討論の発言を許します。

片平議員。

○6番（片平 司君） おはようございます。

平成22年度一般会計・特別会計・企業会計認定について反対の立場から討論を行います。

政治を変えてほしいと願う国民の熱い期待で誕生した民主党政権は、ことごとく国民の期待を裏切り、早3人目の野田政権となりました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災と、それに続く東京電力福島第一原子力発電所の事故は、日本と世界を震撼させ、8カ月がこようとする今も、未曾有の大災害による復旧・復興、そして事故収束にめどが立たない事態が続いています。

にもかかわらず、野田首相は、9月13日の所信表明演説で、脱原発の世論と真反対の原発推進という立場をあからさまにしました。また、震災復興財源には庶民大増税を打ち出しています。増税は一段の景気悪化を招くだけであり、到底容認することはできません。持ち直しつつあった日本経済は、東日本大震災により、後退を余儀なくされています。

2010年度決算資料によると、国民健康保険資格証の発行、いわゆる保険証の取り上げは53世帯です。国保税を滞納すると国保保険証を取り上げられる。江田島市民の命、健康を脅かすという事態はいかなる理由があっても許されません。

国保資格証発行は、直ちに中止すべきです。

市民の生活を脅かす高い国保税をこれ以上放置することは許されません。国保基金の一部だけでも取り崩し、国保税の負担を少しでも軽減すべきです。

そのほか、2010年度決算滞納状況を見ますと、市民税が2億8,620万円、保育料2,170万円、住宅使用料、1億9,000万円、国保税3億6,500万円等があります。

市は弱者対策、生活支援対策を早急に具体化するべきです。

財源は、財政調整基金費19億3,900万円をはじめとした基金81億8,000万円があります。

市は使い道がはっきりしない、ため込まれた巨額のお金を早急に活用し、高い国保税や介護保険料、後期高齢者医療保険料、義務教育終了までの子どもの医療費無料化等を実施し、負担の軽減を図り、生活支援のために活用すべきです。

憲法25条は、すべての国民に生存権を保障しています。

自治体の責務は、住民福祉の増進、これを厳格に定めています。

遊休農地解消事業で、オリーブ植え付けが始まりました。将来的には、大柿町深江地区の山林を開墾して、大型化が予想されますが、10年、20年経過しないと結果のわからない事業に大きな投資は疑問です。

少子高齢化が進む中、有害鳥獣の被害は一段と深刻化し、放棄地は増え続けています。今以上の鳥獣対策が早急に求められています。

畑地総合整備事業はほぼ終了とのことですが、沖・三高地区へのかんがい施設によって、農業用水を確保することにより、農業振興を図るとなっています。合併前からの

継続事業とはいえ、高齢化が一段と進み、荒廃農地は増加の一途で、はたして、かんがい施設が必要なのか危惧をします。

下水道事業は、環境全体の保全・改善を図るとともに、汚泥の資源化によるリサイクルのために必要であります。下水道収入の比率は、使用料が2割、残り8割は一般会計からの繰り出しです。2011年度に平均11%の値上げが行われましたが、値上げの前に、滞納収納率の向上、接続率向上の努力をするべきであり、これ以上の値上げはすべきではありません。

江田島市民は、県下一高い水道使用料を支払っています。5億円近くある剰余金の一部を取り崩して、市民の負担を軽減するべきです。

安全で安心して暮らせるまちづくりについて苦言を呈します。

能美町中町において、ガードレール未設置のため、帰宅途中の市民が自転車ごと川に転落し死亡するという重大事故が発生し、働き盛りの尊い生命が奪われました。残された家族の無念を思うと胸が痛むばかりです。危険箇所の除去の施策を実施するよう、市当局へは何度も要請をしましたが、いまだ施行されていません。江田島市の安心・安全の基準は、何をもって行うのか理解に苦しみます。

市当局は、市民が安全で安心して暮らせるよう、一段の努力をしてもらいたいと思います。

平成22年度決算で評価できる点もあります。

業者の仕事を確保し、施行者の負担を軽減し、地域経済の活性化に寄与した住宅リフォーム制度は、大きな成果を上げています。

業者・市民から喜ばれており、制度の延長を求めて、私の反対討論とします。

ありがとうございました。

○議長（上田 正君） 次に、本16議案に対する賛成討論の発言を許します。
住岡議員。

○11番（住岡淳一君） 私は賛成の立場で討論いたします。

平成22年度各会計決算認定に係る16案については、決算審査特別委員会において慎重に審議され、その結果、適法にしてかつ予算議決の趣旨を尊重しながら、健全な財政運営に努められていると認められておりますので、各会計決算16案については、認定することに賛成いたします。

なお、決算の認定に当たっては、付帯意見等が付されております。

執行部はこれを真摯に受けとめ、今後の効率的で機能的な行政運営に取り組んでいただくよう、お願い申し上げます。

以上で、賛成討論を終わります。

○議長（上田 正君） ほかに討論はありませんか。
（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これをもって討論を終わります。

これより、本16議案について一括採決を行います。

本16議案についての委員長の報告は、意見を付けて認定とすべきであるとするも

のです。

本 1 6 議案は委員長の報告のとおり、認定することに賛成の諸君の起立を求めます。
(賛成者起立)

起立多数であります。

よって、本 1 6 議案については、認定することに決定いたしました。

閉 会

○議長（上田 正君） 以上をもって、本臨時会に付議された案件の審議は、すべて終了いたしました。

これで平成 2 3 年第 5 回江田島市議会臨時会を閉会いたします。

(閉会 1 1 時 1 0 分)